

テーマ：神様に喜ばれる教会の内に働く“福音の力”とはどのようなものか？

●これまでの内容：神様に喜ばれる教会に見られる三つの特徴(4-8)：

1. キリスト・イエスに対する信仰(4a)
2. 全ての聖徒に対する愛(4b, 8)
3. 天にたくわえられてある希望(5)

○キリストの福音が持っている力(6-7)：

「この福音は、あなたがたが神の恵みを聞き、それをほんとうに理解したとき以来、あなたがたの間でも見られるとおりの勢いをもって、世界中で、実を結び広がり続けています。福音はそのようにしてあなたがたに届いたのです。」

「この福音は、あなたがたが神の恵みを聞いて本当に理解したとき以来、世界中で起こっているように、あなたがたの間でも実を結び成長しています。」(2017年版)

→「これ(福音)は、あなたがたに届いているのです。世界中でも同じように、あなたがたの間でも実を結び、成長し続けています。あなたがたが神の恵みを聞き、それを本当に理解して以来そうなのです。」(原文)

1. 範囲：\_\_\_\_\_

※マルコ 16:19-20

「イエスは、彼らにこう話されて後、天に上げられて神の右の座に着かれた。そこで、彼らは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばに伴うしるしをもって、みことばを確かなものとされた。…」

※使徒 1:8

「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

※使徒 6:7

「こうして神のことばは、ますます広まって行き、エルサレムで、弟子の数が非常にふえて行った。そして、多くの祭司たちが次々に信仰に入った」

※使徒 12:24

「主のみことばは、ますます盛んになり、広まって行った。」

※使徒 13:48-49

「異邦人たちは、それを聞いて喜び、主のみことばを賛美した。そして、永遠のいのちに定められていた人たちは、みな、信仰に入った。こうして、主のみことばは、この地方全体に広まった。」

※ローマ 1:15-16

「ですから、私としては、ローマにいるあなたがたにも、ぜひ福音を伝えたいのです。私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。」

※1 コリント 1:18

「十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。」

※使徒 26:29

「パウロはこう答えた。「ことばが少なからうと、多からうと、私が神に願うことは、あなたばかりでなく、きょう私の話を聞いている人がみな、この鎖は別として、私のようになったださることです。」」 (続き)

※1 コリント 1:18, 22-24

「十字架のことは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。…ユダヤ人はしるしを要求し、ギリシヤ人は知恵を追求します。しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えるのです。ユダヤ人にとってはつまずき、異邦人にとっては愚かでしょうが、しかし、ユダヤ人であってもギリシヤ人であっても、召された者にとっては、キリストは神の力、神の知恵なのです。」

## 2. 働き : \_\_\_\_\_

「『実を結ぶ』という言葉は、その信仰者の内に働く福音の力を指しているのでしょうか。『成長する』は、福音が急速に広まることを示しています。したがって、『実を結ぶ』と『成長する』という二つの言葉は、それぞれ福音の持つ、内側の働きと外側への広まりを語っているのです。」(カーチス・ボーガン)

「福音は、個人の内面的な変化と教会の外面的な成長の両方に実を結ぶのです。二つの概念は相互に関連しています。個人の霊的成長は、新たに改心する者がキリストへとたどり着くよう導くのです。これが初代教会のモデルでした。」(ジョン・マッカーサー)

## 3. 本質 : \_\_\_\_\_

※エペソ 2:1-3

「あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中であってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。私たちもみな、かつては不従順の子らの中であって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。」

「私たちは罪の力によって完全に支配されている。知性の全て、心の全て、私たちの振る舞いの全てがその影響下にあるのだ。」(ジョン・カルヴァン)

※エペソ 2:4-5

「しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、――あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです――」

※ローマ 6:6-7, 11

「私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減びて、私たちがもはやこれからは罪の奴隷でなくなるためであることを、私たちは知っています。死んでしまった者は、罪から解放されているのです。…このように、あなたがたも、自分は罪に対しては死んだ者であり、神に対してはキリスト・イエスにあって生きた者だと、思いなさい。」